



横浜訓盲学院 だより

第39号(2017年3月号)

2017年2月28日発行

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181番地 URL : <http://kunmou.jp/>

事務部

TEL:045-641-2626 FAX:045-641-2627 TEL/FAX:045-662-1710 TEL/FAX:045-662-1833
E-mail : jimu@kunmou.jp E-mail : futsuu@kunmou.jp E-mail : riryou@kunmou.jp

普通部

理療科



心を支え、命を守る毎週の礼拝

学院長 中澤 恵江

前号の横浜訓盲学院だより第38号のなかで、古旗誠牧師が学院の礼拝について紹介してくださいました。ここでは少し異なる視点から、学院の礼拝が普通部の児童生徒にもたらす教育的意味をご紹介したいと思います。

毎週木曜日の昼食後、普通部の重複障がいを有する児童生徒、理療科生徒、教員の約60名が礼拝のために講堂(冬期・夏期は多目的室を利用)に談笑しながら集まります。午後一時になり古旗牧師が礼拝の始まりを告げ、ピアノの前奏が始まると、ざわつく空間が、神の御前に心静まる礼拝の空間に変って行くのを感じます。次いで、1) 子ども賛美歌(手話付)。2) 愛情深く語りかける古旗牧師の説教とお祈り。3) 月ごとの賛美歌。4) 普通部の児童生徒代表一名が前に出て聖句暗唱のリードをとり、それに従って全員が斉唱します。大役を果たした代表は全員から盛大に讃えられます。なお、リード役はどの児童生徒にも順番に巡ってきて、音声、手話、コミュニケーション機器等を使って行います。5) その週に生まれた人の名前が一人ずつアナウンスされ、皆で祝福し、誕生を祝う歌を全員で合唱します(手話付)。6) 古旗牧師が礼拝の終わりを告げ、ピアノの後奏が流れ、普通部の児童生徒は日常の授業に戻っていきます。

何年にもわたり、毎週の礼拝を守ることが、児童生徒たちに大集団の中でも心を鎮められる、愛されている、挑戦できるという自信の根を張り巡らしていくのを感じます。

ある生徒は、初めて校外作業実習を行ったとき、緊張のあまり動けなくなりました。すると賛美歌を突然歌い始め、フッと動けるようになりました。また、本学院の児童生徒は、入学式・卒業式・成人式など、儀礼的空间に安心して参加できます。さらに、とても大切なのは、避難訓練において、児童生徒たちはヘルメットをかぶって、静かに教員と移動し、大勢が集まる避難場所で、落ち着いて待つことができます。大きな災害が来る可能性が高まっている今、非日常的な状況の中で教員を信頼し、安全な場所まで移動し、一定時間穏やかに過ごせることは、命を救うことにつながります。

毎週の礼拝は、大いなる存在の前に心静まり、心を支え、命を守る働きをもつと、私は感じています。



「安心しなさい。恐れることはない。」

マルコによる福音書6章50節

《3月の聖句》 神が共にいて守ってくださいます。

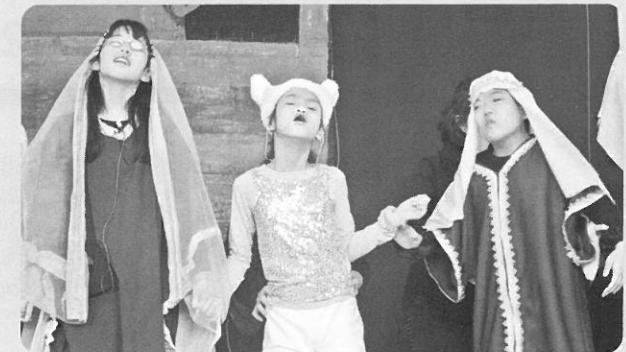
12月10日(土)

❖サウンドテーブルテニス大会❖



12月23日(金)

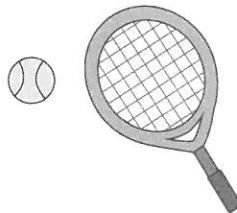
❖クリスマス礼拝・祝会 ページェント❖



12月10日（土）、神奈川県盲学校体育連盟主催のSTT（サウンドテーブルテニス）大会が横浜市立盲特別支援学校で行われました。本校児童生徒6名は、エンジョイルールの部に出場し、横浜市立盲学校、平塚盲学校の生徒とともに9名によるトーナメントで戦いました（当日1名の欠場あり）。

結果は、優勝と準優勝が訓盲学院の生徒となりましたが、一回戦からどの試合も白熱し、出場した全生徒の実力が拮抗しているように感じる試合内容でした。

児童生徒は各課題の練習の成果を十分に発揮することができ、真剣勝負の緊張感が漂う中でも、伸び伸びと卓球の試合を楽しんでいました。応援に来た保護者、教員からは、「感動した！」「観ているこっちが緊張した！」という声が飛び交うほどの素晴らしい大会となりました。来年度も楽しみです。



12月23日（金）に、クリスマス礼拝・祝会が行われました。その中で、今回、ページェントを演じた小中グループでは、子どもたちの個性や成長を考えてキャストと内容を決め、オリジナルの脚本を作りました。ページェントの劇の練習の他に、授業では衣装を生徒たちと一緒に縫い、「黄金」、「もつ薬」などを作りました。

12月から始めた練習は合計9回、体調不良などでお休みの生徒もいたため、本番でやっと全員がそろって演じることができました。そして、本番終了後は「がんばったね」と、ねぎらいの言葉を掛ける生徒や、まだ緊張がとけず今にも泣き出しそうな生徒などもいましたが、練習や本番を通して生徒たちの成長を感じることができました。当日は皆様からたくさんの声援と拍手をいただき、感謝の思いでいっぱいです。本当にどうもありがとうございました。



視覚障害

ミ二知識

江戸時代の視覚障害者

葛原勾当（くずはらこうとう）という方をご存じだろうか。江戸末期から明治にかけての一人で生田流の琴の名手であった。勾当についてであるが、江戸時代、視覚障害者は独自に職業集団（ギルド）を作っていた。その集団は座頭から始まって勾当、検校、総検校というふうに出世していく、総検校ともなると旗本なみであったらしい。その職業は、葛原勾当のように琴、三味線や杉山検校のように鍼灸按摩であった。ところで葛原勾当を有名にしたのは、木活字をもちいた日記を毎日、書き続けたことで、それは50年に及ぶ。表記は、文語文（擬古文）ではなく、聞いたままの口語文で表されており、和歌も多く記されている。今でも国語史及び音楽史の一級の資料として扱われ、勾当の出身地広島の重要文化財となっている。

琵琶法師から始まる日本芸能史において視覚障害者は燐然と輝いていたのである。

1月18日水

成人を祝う会



1月18日(水)、高等部専攻科生活科で今年度、成人を迎える生徒3名をお祝いする『成人を祝う会』が行われました。

午前中に行われたセレモニーでは、幼かった時期から現在に至るまでの成長をスライドショーの写真を見ながら感じることができました。生徒たちの挨拶では、保護者の前で、先生の言葉かけを受けて挨拶、コ

メントを書いた色紙に手形を押したものを両親にプレゼントして、日頃の感謝の気持ちを伝えることができました。中澤学院長のお祝いの言葉をよく聞いている様子も見られ、生徒たちの成長を感じることができました。昼食は、学院長をはじめ教員と保護者で生徒を囲んでの会食が行われ、学校での様子や思い出話しさしながら、和やかで楽しい時間を過ごすことができました。昼食後の茶話会では、歌を歌ったり、音楽に合わせて踊ったりと、生活科生徒全員で楽しみながら二十歳を迎える3名をお祝いすることができた楽しい1日となりました。



総合防災訓練

毎年、学院では災害時に各機関との連携を図るために、大震災を想定した総合防災訓練を行っています。現在学院には、視覚障がいに加えてさまざまな障がいを併せ持つ児童・生徒が在籍しており、全員が迅速かつ安全に避難するため、多くの地域の方々にもご協力していただき、訓練を行っています。

今回は、初期消火、通報、避難、救出、救護の訓練を行い、その後、消防署の協力による煙ハウスを体験しました。救出訓練では、意外にも担架の組み立て方が難しかったということに気付かされたり、煙ハウス体験では、多量の白い煙で自分の足元さえ見えないことに驚

かされたりと、児童・生徒だけでなく職員も含め、それぞれに大変有意義な訓練となりました。消防署の職員の方々や参加してくださった地域の皆様、ご協力いただき本当にありがとうございました。今後も、「火事を出さない!」「早期発見!」を心掛けます。



管鍼法(かんしんほう)

日本の鍼治療は、管を使用して刺す管鍼法【かんしんほう】です。鍼を鍼よりも少し短めの鍼管(管)に入れて経穴(ツボ)に刺し、その後、管を取り除き目的の深さまで鍼を刺していくきます。使用する鍼は、髪の毛と同じくらいの太さで、約0.2mmです。症状に応じて鍼をすぐに抜いたり、しばらく刺したままにしたり、動かしたりして経穴を刺激することもあります。また、鍼に弱い低周波を流して筋肉や神経を直接刺激する方法もあります。そして、刺さない鍼もありこれを接触鍼といいます。突起部分やローラー部分で皮膚をこすったり、押すことでツボを刺激します。これらは、子どもを治療する際に用いられるので、小児鍼ともいいます。効果として、かんの虫、夜泣き、不機嫌、食欲不振、便秘・下痢、消化不良などがあげられます。この鍼は子どもだけでなく、体质が敏感な大人にも用いることが出来ます。部位は後頸部や肩甲骨の間、腕や足をこります。家庭では、スプーンの腹の部分を代用して簡単に行うことも出来ます。試してみて下さい。

PTAバザー

11月19日(土)にPTAバザーが行われました。朝は小雨のぱらつくあいにくの空模様でしたが、開場前には学院を取り囲む大行列が!このパワーもあってか、バザー開催を後押しするかのように開場時には雨は止んでいました。校庭には各グループのお



国家試験

今年も2月25日(土)にあん摩マッサージ指圧師試験、26日(日)にはり師・きゅう師試験が実施されます。あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師試験は、1993年に都道府県知事免許から厚生労働大臣による国家資格となりました。今年で第25回目、毎年2月の第4土曜、日曜に実施されています。問題数は、あん摩マッサージ指圧師試験が150問、はり師・きゅう師試験が計160問、どちらも正答率60%で合格となります。3年間の集大成であるこの国家試験をクリアし、目標を達成して欲しいと願います。合格発表は3月28日(火)、ここからが「スタート」です。

《今後の行事予定》

- | | |
|-----------|---|
| 3月 | 3日(金) 普通部保護者参観日
7日(火) 防災訓練
14日(火) 普通部卒業おめでとう会
15日(水) 理療科生徒会送別会
17日(金) 2016(平成28)年度卒業式・修了式
21日(火)~春休み |
| 4月 | 3日(月) 理療科新入生オリエンテーション
10日(月) 2017(平成29)年度入学式・始業式 |

—ご協力のお願い—

[2017(平成29)年度 賛助会員]
私たちの視覚障害教育にご理解いただき、ご支援下さる団体・個人の方々の賛助会員を募らせていただいております。よろしくお願い申し上げます。

[年会費]

団体会員(1口)10,000円／個人会員(1口)1,000円(口数は問いません)

[お支払い方法]

・郵便振替[加入者名]学校法人横浜訓盲学院(口座番号00200-5-40861)

・現金

会費以外に寄附金も有難くお受けいたします。

[その他]

・会費は寄付金として扱われ、横浜訓盲学院より領収書が発行されます。

[免税措置]

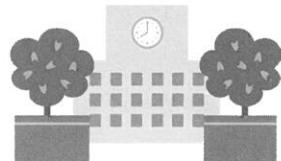
・当校は特定公益増進法人の認可を受けておりますので、法人の場合は、一般の寄付金とは別枠で免税会計処理ができます。

・個人の場合は、2,000円を超える金額に対して免税されます。

[お問い合わせ先]

横浜訓盲学院 事務部 TEL.045-641-2626

店や作業所、お花屋タチバナさんやワタミさんのブースが揃い、例年よりいっそう賑やかで一体感のあるバザーを開催することができました。また、理療科では恒例の3年生によるクイックマッサージが行われました。「楽になった」、「気持ち良かった」との声が聞かれ、今年も大好評でした。不順な天候のなか、本学院へ足をお運びいただいた皆さんへ、心から感謝申し上げます。ご協力ありがとうございました。



院外臨床実習のご案内



2017(平成29)年

院外臨床実習とは、学院臨床室以外の場所で生徒たちがおこなう実習です。

日頃の感謝の気持ちを込めて、毎年、学院周辺の町内会館にてマッサージを行なっています。

是非ご利用下さい。

- | |
|------------------|
| 3月 6日(月) 鷺山竹之丸会館 |
| 7日(火) 豆口台上町会館 |
| 8日(水) 柏葉町内会館 |
| 9日(木) 麦田地域ケアプラザ |
| 10日(金) 大和町立野町内会館 |

時 間 9時30分～11時30分

料 金 無料

◆お問い合わせ先◆

各町内会まで

《2017(平成29)年度生徒募集》

◎募集定員 (各部若干名)

【普通部】 幼稚部・小学部・中学部

高等部普通科・専攻科生活科

【理療科】 高等部専攻科保健理療科

高等部専攻科理療科

◎募集期間 《二次募集》

普通部・理療科ともに3月10日(金)まで随時

◎お問い合わせ

代 表 TEL.045-641-2626